

第257回教育研究評議会議事要録

1. 日 時 平成28年4月19日（火） 13:30～16:15
2. 場 所 事務局 第2会議室
3. 出席者 中井学長、中田副学長、三浦副学長、小沢副学長、
真田副学長、千葉副学長
千葉人間発達文化学類長、朝賀評議員、谷評議員、
久我行政政策学類長、田村評議員、鈴木評議員、
阿部経済経営学類長、伊藤評議員、佐野評議員、
二見共生システム理工学類長、山口評議員、
初澤うつくしまふくしま未来支援センター長、難波環境放射能研究所長、
若井事務局長
【オブザーバー】上井監事
4. 欠席者 佐藤評議員

5.

審議事項

1. 第2期中期目標期間における教育研究評価について
2. 学長選考会議委員の選出について
3. 学内諸規則等の制定について
4. 福島大学名誉教授の称号授与について

報告事項

1. 経営協議会委員について
2. 第3期国立大学法人福島大学中期目標・中期計画について
3. 平成28年度国立大学法人福島大学年度計画のパブリックコメント対応について
4. 平成28年度学類年度計画の策定について
5. 平成27年度期末監事監査実施計画について
6. 就業規則の制定等について
7. 福島大学期日前投票所の設置等に係る協定の締結について
8. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について
9. 平成28年度入学試験実施結果について
10. ルードヴィヒスハーフェン大学（ドイツ）及び中東工科大学（トルコ）との大学間交流協定締結について
11. ブリティッシュコロンビア大学（カナダ）との学生交流協定締結について
12. 福島大学貴重資料保管室（仮称）のあり方に関する報告について
13. 平成28年度学生教育支援基金の交付について

14. その他

【確認事項】

第255回、第256回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 第2期中期目標期間における教育研究評価について

中田副学長から、資料1に基づき、各研究科における「研究業績説明書」及び各研究科における「現況調査表（研究）」について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

なお評議会終了後、パブリックコメントを募集することにより、学内意見を聴取することとしている。

各学類教員会議へ、口頭にて報告することとした。

(2) 学長選考会議委員の選出について

中井学長から、学長選考会議規則第2条第1項に基づき、学長選考会議委員の5名選出について、4名を各学類から選出する委員として引き続き各学類長、1名を引き続き事務局長とする提案があった。また、今年度からは事務局長が理事も兼ねているが、あくまで事務局長として選出するとの説明があった。

質疑の中で、事務局長を教育研究評議会選出する場合、理事でないことが前提なのではないか、また規則の「学長、理事除く」を満たしているのかといった事務局長の扱いについて意見が出た。山下総務課長から、教育研究評議会には事務局長として出席しているという前例があること、また規則の「学長が指名する理事」には含まれないため、事務局長として選出されることは満たしているとの説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、口頭にて報告することとした。

(3) 学内諸規則等の制定について

中田副学長から、資料2に基づき、総務省「独立行政法人等の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する指針」の改正に伴い、本学でも個人情報保護管理規則の改正を行ったが、一部項目について追加で規定を設けるよう総務省から指示があったため、個人情報保護管理規則を改正することについて提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(4) 福島大学名誉教授の称号授与について

中田副学長から、資料3に基づき、各学類からの名誉教授の推薦を受け、名誉教

授称号授与規則第2条第1項に基づく選考について提案があった。続いて、各学類長から推薦者についての説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

【報告事項】

(1) 経営協議会委員について

中井学長から、資料4に基づき、平成28年度～29年度の経営協議会委員について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) 第3期国立大学法人福島大学中期目標・中期計画について

中井学長から、資料5に基づき、第3期中期目標・中期計画が確定したことについて報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(3) 平成28年度国立大学法人福島大学年度計画のパブリックコメント対応について

中井学長から、資料6に基づき、中期計画変更の認可（平成28年3月31日付け）を受けた後、同日付けで文部科学省へ提出したことについて報告及び学内のパブリックコメントへの対応について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(4) 平成28年度学類年度計画の策定について

中井学長から、資料7に基づき、平成28年度学類年度計画について、各学類長から報告があるとの発言があり、その後各学類長から報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(5) 平成27年度期末監事監査実施計画について

中井学長から、資料8に基づき、平成27年度の期末監事監査実施計画が監事から学長へ提出されたことを受け、その内容について、上井監事から説明があるとの発言があった。上井監事から計画について説明があり、また各部局に依頼した回答書の作成、および監事によるヒアリングへの対応について依頼があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(6) 就業規則の制定等について

中田副学長から、資料9に基づき、第390回役員会（3月29日開催）で承認

された就業規則の一部改正について、過半数代表者から意見書が出され、第391回役員会（4月18日開催）で最終決定したことについて報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(7) 福島大学期日前投票所の設置等に係る協定の締結について

三浦副学長から、資料10に基づき、期日前投票所設置に関し本学と福島市選挙管理委員会との協定締結について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(8) 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

真田副学長から、資料11に基づき、平成28年度に実施するすべての入試において、昨年度同様検定料を免除することについて報告があった。

質疑の中で、真田副学長から、今後も免除を継続していくかについては、需要等を踏まえ各大学で判断していくことになるとの説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(9) 平成28年度入学試験実施結果について

真田副学長から、資料12に基づき、平成28年度入学試験結果について確定入学者数の内訳等の報告があった。

質疑の中で、真田副学長から、大学院について、全研究科で定員割れとなっており、これから5~6月にかけて各研究科長を始めとして学内で今年度の対応策について話し合っていくこと、今後の中期、長期的な対策についても各研究科から対応策を挙げてほしいとの説明があった。また学類生の進路と大学院進学について、より一体的に捉えて対策していく必要があるとの発言があった。

また、大学院卒業後の進路について、全国的に就職が難しく選択が狭まっている現状があり、大学院生への就職支援について、より強化していく必要があるとの意見があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(10) ルードヴィヒスハーフェン大学（ドイツ）及び中東工科大学（トルコ）との大学間交流協定締結について

真田副学長から、資料13に基づき、ルードヴィヒスハーフェン大学（ドイツ）及び中東工科大学（トルコ）との学術交流協定及び学生交流協定について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

- (11) ブリティッシュコロンビア大学（カナダ）との学生交流協定締結について
真田担当副学長から、資料 14 に基づき、ブリティッシュコロンビア大学（カナダ）との学術交流協定について報告があった。
各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。
- (12) 福島大学貴重資料保管室（仮称）のあり方に関する報告について
千葉副学長から、資料 15 に基づき、福島大学貴重資料保管室（仮称）のあり方に関する検討委員会の検討結果について報告があった。
質疑の中で、千葉副学長から、検討結果を受けて、運営をする委員会等を設け、引き続きより具体的な検討をしていきたいとの説明があった。
各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。
- (13) 平成 28 年度学生教育支援基金の交付について
若井理事から、資料 16 に基づき、第 390 回役員会（3 月 28 日開催）で決定した本基金による応募事業の採択結果について報告があった。
各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。
- (14) その他
特になし